

平成30年度 第3回 私立大学研究ブランディング事業実施委員会

日時：平成30年7月12日（木）13：30～14：00

場所：岐阜女子大学本館中会議室

議題：



1. 平成30年度 私立大学研究ブランディング事業の進捗状況について

■会議

- ◆6月28日（木）第2回飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ作成委員会
作成委員：田中彰（高山市史編纂委員）、三島信（飛騨高山大学連携センター）、
金井桂男（1級建築士）、尾花蕃（飛騨の匠学会）、家始義光（日進木工株式会社・開発）、本母雅博（飛騨産業株式会社・専務）
（内容）1. 私立大学研究ブランディング事業における資料作成の進捗状況について
2. 講演会の開催（飛騨世界生活文化センターと共催）
平成31年9月7日（土）に開催予定

- ◆6月29日（金）第2回郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ作成委員会
作成委員：長尾実（郡上市教育委員会・課長）、藤原洋（郡上市教育委員会・
学芸員）、曾我孝司（郡上市文化財保護審議会委員）
（内容）1. 私立大学研究ブランディング事業の資料作成の進捗状況について
2. 私立大学研究ブランディング事業報告会について
日時：平成31年2月23日（土）13：00～
場所：郡上市総合文化センター
3. 郡上高校(8/21)・郡上北高校(8/17)・郡上市歴史資料館における
講習会の計画について

■視察

- ①6月29日(木) 石巻専修大学 今野氏（事務次長） 千葉氏（担当者） 2名
- ②7月 3日(火) 東京大学 長丁教授（東京大学大学院・教授）他4名
- ③9月11日(火) 東北公益文科大学 神田教授 学部長 他8名（予定）

□飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ（6月）

薬師寺・唐招提寺・龍應山西明寺

□郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ（6月）

林西寺・岩間山正法寺・白山長瀧神社・白川郷・白山比咩神社

2. 平成30年 郡上市『白山ユネスコエコパーク』学術研究等補助金（資料1）

郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブと新たな観光資源の調査研究（審査中）

3. 学生による地域課題解決提案事業（資料2）

郡上白山文化遺産の観光資源化への整備と世界遺産登録への支援（採択）

4. その他

- ①私立大学研究ブランディング事業外部評価委員会
平成31年2月22日（金）14：00～15：00（予定）
- ②学生のデジタルアーカイブの意識アンケート 実施日程について

平成 30 年 郡上市『白山ユネスコエコパーク』学術研究等補助金実施計画書

1 補助研究等の名称

郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブと新たな観光資源の調査研究

2 補助研究等の目的及び内容

(1) 補助研究等のテーマ

- ・郡上白山の伝統文化の調査，建造物，建築物群の歴史的・文化的価値の調査並びに白山信仰の美濃馬場の調査を綿密に行い，デジタルアーカイブ化することにより，新たな観光資源の発掘と世界遺産への登録を支援する。
- ・郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブ（文化的伝統の収集と調査・建造物，建築物群の歴史的な価値の調査・白山信仰の美濃馬場の調査）において「知の増殖型サイクル」を構成し，世界遺産への登録を支援する。

(2) 目的及び内容（※具体的に）

- ①郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブ化とそれぞれのメタ情報を整理し，デジタルアーカイブ化した静止画や動画の長期保管の管理体制を確立する。
- ②郡上白山文化遺産を中心に，建築，美術をはじめ，古文書その他の考古資料，演劇，音楽，祭礼，生活用具などの民俗資料，学術的に重要な理科学資料，また，形には残らないが伝承される技術としての無形文化財についてデジタルアーカイブを行う。
- ③アーカイブした内容を冊子にまとめ，資料集を作成する。
- ④郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブに関するシンポジウムや高校生や一般を対象とした講習会等を開催し，デジタルアーカイブに関する意識を高めるとともに，白山文化遺産について新たな観光資源を調査する。

(3) 調査・研究の方法（調査区域、地点、調査方法、日程など）

- ①調査区域：郡上市
- ②地点：長瀧白山神社・白鳥神社・洲原神社・白山中居神社・白山文化の里・若宮修古館
- ③調査方法：静止画や動画での記録・データベース化・メタ情報の記述・アンケート調査
- ④日 程

7月	調査
8月～10月	撮影並びにデジタルアーカイブ講習会の開催
11月	メタ情報の作成
12月	報告書作成
2月	シンポジウム開催（予定）

(4) 補助研究の完了予定年月日

平成31年 3月29日

(別紙 1) 学生による地域課題解決提案事業企画書

1 テーマ

郡上白山文化遺産の観光資源化への整備と世界遺産登録への支援

2 調査研究または実践活動の概要

知識基盤社会において郡上白山文化遺産デジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという本学独自の「知の増殖型サイクル」の手法により、地域課題を探求し、深化させ課題の本質を探り実践的な解決方法を導き出す手法を確立する。

①地域の課題の調査の視点

- ・ 建造物、建築物群を含めた伝統文化遺産の調査・収集と整備
- ・ 衰退する白山信仰の三馬場の復活
- ・ 郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブ 文化的伝統の収集と調査・建造物、建築物群の歴史的な価値の調査・白山信仰の三馬場の調査において「知の増殖型サイクル」を構成し、世界遺産への登録の支援
- ・ デジタルアーカイブを支える専門職「サーチャー・アナリスト」並びに「コーディネータ」養成のためのカリキュラム、教材テキストの開発とデジタルアーカイブを用いた地域等と連携した地域人材養成に関する開発研究

②地域課題を解決するための調査研究並びに活動

③検証方法

- ・シナリオに基づいて行動結果、成果等をロジックモデルとして整理し、社会経済的効果を貨幣換算等で定量化し、時間軸の中でそれらの効果がどのような時期に生じるのかをインパクトマップとして整理する。
- ・地域の伝統文化産業を支える財源確保のためのエビデンスの整備は喫緊の課題であり、また、税金だけでなく、社会的投資等外部資金の確保のためにも地域伝統文化産業への投資効果を明らかにすることが求められつつある。こうした状況を踏まえて、本研究では『郡上白山文化遺産 DA』を取り上げ、それぞれの伝統文化活動の社会経済的効果及び意識的効果を定量的に分析することで、地域の伝統文化政策立案、財源確保への有効なモデルとなる。
- ・ここでは、地域振興に有効なデジタルアーカイブの効果を検証するために、社会経済的効果と意識的効果の測定手法の併用による項目関連構造分析手法(item relational structure analysis)で定量的に分析する。これによって、事業の効果を事前・事後にシミュレーションでできるようになるとともに、効果の予測や効果が出なかった場合の検証ができるようになり、当該事業を継続させるために必要な財源確保に有効な新たな価値の創造に基づいた論理的根拠の導出が可能になる。

3 解決提案の方向性

○郡上白山文化遺産に関する総合的な地域文化の創造を進めるデジタルアーカイブでは、産業技術、観光、教育、歴史等で新しい「知の増殖型サイクル」を目的とした総合的なデジタルアーカイブとして捉えている。

そこで、これらの郡上白山文化遺産DAを「知の増殖型サイクル」として適用すると図のような構成になる。

○郡上白山文化遺産デジタルアーカイブにおける文化的伝統の収集と調査・建造物、建築物群の歴史的な価値の調査・白山信仰の三馬場の調査において「知の増殖型サイクル」を構成し、世界遺産への登録を支援する。

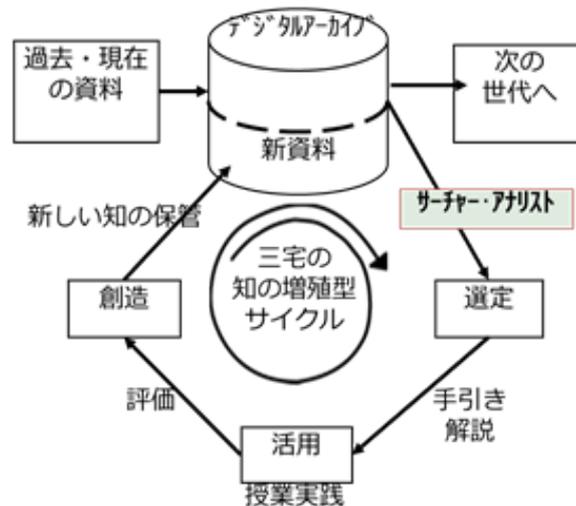


図2 三宅の知の増殖型サイクル

○また、これらの観光文化産業の知的財産権の保護が十分なされていないと、今後、新しい観光産業の開発など新たな知の創造に、デジタルアーカイブを効果的に活用されていないと考えている。

○そこで、**郡上白山文化遺産デジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという本学独自の「知の増殖型サイクル」の手法により、地域課題を探求し、深化させ課題の本質を探り実践的な解決方法を導き出す手法を確立する。**

4 研究等の構成員 (学校、学科、学年、氏名等)

岐阜女子大学 文化創造学部 アーカイブ専修